



# 川崎市・リエカ市 姉妹都市 提携



## 記念コンサート

The 40th anniversary of the Sister City  
Cooperation between Kawasaki, Japan and Rijeka, Republic of Croatia  
Concert

2017.11.22 (水)  
カルッツかわさき ホール

Wednesday, November 22, 2017  
Culttz Kawasaki Hall

主催 川崎市／カルッツかわさき

後援 クロアチア共和国大使館 公益財団法人川崎市国際交流協会 公益財団法人川崎市文化財団  
「音楽のまち・かわさき」推進協議会 川崎市教育委員会





本日は、「川崎市・リエカ市姉妹都市提携40周年記念コンサート」にお越しいただき、誠にありがとうございます。ごぞいます。

このコンサートは、本市が初めて姉妹都市提携を結んだクロアチアのリエカ市との交流40周年を記念し、音楽を通じた交流と親交を深めるために企画したもので、クロアチア・リエカ市が誇る若きピアニストゴラン・フィリペツ氏によるリサイタルをお届けします。本年10月に新たにオープンしたばかりのこのカルッツかわさきホールで、優雅で上質なピアノ演奏を存分にご堪能ください。

コンサート冒頭には、2007年に両市の姉妹都市提携30周年記念コンサートをクロアチアで公演した実績のある「登戸混声合唱団」と、数々の音楽コンクールで受賞歴があり今年度の川崎市文化賞を受賞した「川崎市立坂戸小学校合唱団」が、両市の友好の懸け橋として合唱を披露いたします。

このコンサートを通じて両市の40年にわたる姉妹都市の絆への理解をより一層深めていただければ幸いです。

川崎市長 福田 紀彦



川崎市とリエカ市は姉妹都市提携40周年という記念すべき年を迎えました。両市の友好と協力の関係は、数々の文化交流を通じて相互理解に大きく貢献してきました。

この素晴らしい機会に、私たちは自信を持って皆様にリエカ市のピアニスト、ゴラン・フィリペツ氏の演奏とリエカの美しい風景や人々を収めたパネル展をお届けいたします。クロアチアの偉大な作曲家イーヴォ・マチェクとフランツ・リストの楽曲を通じて、2020年欧州文化首都に選出されたリエカ市からの、友好と御健勝と御多幸の祈りを込めた贈り物を、どうぞお受け取りください。

このコンサートが、両市の、ひいては日本・クロアチア両国の友情と平和、そして次世代の明るい未来につながるるとともに、私たちの最高の思い出となることを心から希望いたします。

今後とも、両市の友好関係がさらに生き生きと躍動し、クロアチアのオリーブの古木の様に深く根付き、日本の桜のように美しく花開いて、発展してゆくことを願ってやみません。

クロアチア共和国・リエカ市長 ヴォイコ・オベルスネル

本日は『川崎市・リエカ市 姉妹都市提携40周年記念コンサート』にご来場いただき、誠にありがとうございます。

リエカ市との姉妹都市提携40周年という節目に、この10月にグランドオープンを迎えたカルッツかわさきへリエカ市長ならびにフィリペツ氏をお招きできることを大変光栄に感じております。フィリペツ氏の素晴らしい演奏を、是非お楽しみください。

カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター) 館長 柴田康則

## リエカ市とは About Rijeka



2020年欧州文化首都  
**リエカ**



RIJEKA 2020  
EUROPEAN  
CAPITAL  
OF CULTURE

リエカとは「川」を意味する。人口約13万人で、リエチナ川の両岸に位置し、アドリア海に面するクロアチア最大の港湾都市である。近年では、新技術や、豊富な産業と文化遺産による観光産業にも力を入れ、またヨーロッパ主要都市への接続のため積極的にインフラ整備を行い、欧州横断運輸ネットワークにおける地中海など3つの回廊を利用する中で経済発展を続けている。また新技術や新商品の開発で提携をしているリエカ大学は、ヨーロッパ上位500校を目指している学生数2万、11学部を有した最も歴史ある大学の1つで、同大学と連携した技術開発は、リエカ市の発展の柱と位置づけられている。





○ 登戸混声合唱団

指揮:片野秀俊

クロアチア愛国歌「U BOJ!(ウ・ボイ)」

○ ごあいさつ

川崎市長 福田 紀彦

リエカ市長 ヴォイコ・オベルスネル

○ 坂戸小学校合唱団

指揮:中島はるみ

上を向いて歩こう 作詞:永六輔 作曲:中村八大 編曲:大田桜子

ピアノ:川口春霞 パーカッション:中野文悟

ふじ山 作詞:巖谷小波 作曲:文部省唱歌 編曲:大竹くみ

ピアノ:川口春霞・新谷愛香

ふるさと 作詞:高野辰之 作曲:岡野貞一

ピアノ:川口春霞

ジャガーよ、僕の心を駆け抜ける 作詞:みなづきみのり 作曲:大田桜子

ピアノ:川口春霞

○ ゴラン・フィリペツ

イーヴォ・マチェク

間奏曲

主題と変奏

フランツ・リスト

ダンテを読んで—ソナタ風幻想曲

パガニーニによる大練習曲

第1曲 トレモロ

第2曲 オクターブ

第3曲 ラ・カンパネラ

第4曲 アルペジオ

第5曲 狩り

第6曲 主題と変奏

Photo Library

【本日、ロビー階ホワイエにてパネル展開催中】

姉妹都市提携10周年記念に

川崎市から寄贈したブロンズ像「友情」▼





## ゴラン・フィリペツ(ピアノ) Goran Filipec, piano



©Andrej Grlic

ゴラン・フィリペツは、フランツ・リスト協会(Ferenc Liszt society in Budapest)から、2016年リリースのアルバム、パガニーニ大練習曲集(ナクソス)でレコード大賞を受賞するなど、世界的に注目されるピアニストである。古典派そしてロマン派の作品にレパートリーの大半を置き、輝かしい超絶技巧、燃えるような力強さと繊細な音楽性で聴衆の心を捉えている。

1981年クロアチアのリエカに生まれ、モスクワ音楽院、ハーグ王立音楽院、ケルン音楽大学、ザグレブ音楽院に学ぶ。ナウム・グルーベルト、ナタリア・トゥルル、オクサナ・ヤブロンスカヤ、エフゲニー・ザラフィアンツに師事。コンクールでは、フランツ・リスト国際ピアノコンクール=マリオ・ザンフィ、バルナソス・ピアノコンクール、ガバラ国際ピアノコンクール、ホセ・イトゥルビ国際音楽コンクール他で受賞。

現在は演奏活動のかたわら、パリ・ソルボンヌ大学、パリ国立高等音楽院博士課程においてパガニーニの残したピアノ作品について研究を行っている。

フィリペツはヨーロッパではもちろんのこと、アメリカ、南米、日本で演奏。2006年にカーネギーホールでデビューを果たした後、マリンスキー劇場、ミラノ・オーディトリウム、フィルハーモニー・ド・パリ、ブタペスト国立コンサートホール、横浜みなどみらいホールなど主要な劇場、コンサートホールで演奏。なかでもマリンスキー劇場のピアノ・フェスティバルには度々招かれている。また、かの有名なマルタ・アルゲリッチからの招待を受け、フィリペツは彼女のプロジェクトであるマルタ・アルゲリッチ・フェスティバルで演奏している。

リスト協会は今回のレコード大賞授与にあたって、フィリペツの演奏はリスト自身もが大いに評価するであろうと述べた。これによりゴラン・フィリペツは、ホロヴィッツ、アシュケナージ、シフラ、ブレンデル、アラウ、コチシュ、ホリーニなどの名だたる歴代受賞者たちのなかに名を連ねた。

[www.goran-filipec.com](http://www.goran-filipec.com)



### 登戸混声合唱団

1980年12月 現、常任指揮者 片野秀俊先生(多摩区在住)の呼びかけで結成し、川崎市多摩区、麻生区を拠点として活動しています。メンバーは約40名で、地元川崎市在住者が70%を占め、年齢層は30代～80代です。合唱を通して、自身の楽しみとともに聞いていただく皆様の心に安らぎを与えることが出来ればと、活動を続けていくことがこの合唱団の理念です。2007年には、リエカ市と川崎市の姉妹都市提携30周年記念コンサートをクロアチアで公演し、翌年2008年春、クロアチア大統領来日の際にも歓迎レセプションで合唱を披露しました。



### 坂戸小学校合唱団

昨春秋に創立30周年を迎えた合唱団。学校・地域や施設でのボランティア演奏やイベント参加、東京交響楽団との共演、国際交流・文化交流など、さまざまな活動をしています。NHK全国学校音楽コンクールでは、2017年も含め、県大会金賞をこれまで7回受賞し、神奈川県代表として関東甲信越ブロックコンクールでは銅賞を6回受賞。TBS子ども音楽コンクールにおいても神奈川県最優秀校に5回選ばれたほか、東日本優秀演奏会での最優秀賞受賞、全国大会出場など数々の受賞歴があります。2017年度 川崎市文化賞受賞。